

# 2018年度予算に向けた緑の党グリーンズジャパン会派要望

2017.11.30

緑の党グリーンズジャパン 井奥雅樹

## ○総論

### メリハリの効いた理念提示と着実な計画実行を

～「打ち上げ花火」が多すぎるのではないか～

3期目2年目に入った登市政で多くの計画が作られていますが、メリハリが効いておらず、ただだらとした各種施策の積み上げにすぎません。「理念」が明確でないため、市民にも伝わりにくいものになっています。また、「連続立体交差事業」のような打ち上げ花火的な施策が目立つようになってきました。その一方で中学校給食実施、JR曾根駅横のエレベーターなど予定していた事業の遅れも懸念されます。

人口減少が確実な中、理念をもとにした施策の絞り込みと着実な実行が必要です。また、ハード変調から脱却し、将来の成長産業たる「エネルギー政策」「福祉政策」への投資も必要となります。

そこで、2018年度当初予算に対し、絞り込んだ3つの分野での予算要望を行います。過去3年間要望した予算要望は多く実現されていないものが多くあります。今回は趣旨的なものは省略したので、2015年度～2017年度要望もぜひ参考にさせていただくことをお願いします。

## ○[環境・雇用] エネルギー産業で仕事づくりに向けた要望

### 気候変動(地球温暖化)対策や財政対策にもつなげるエネルギー政策の徹底を <軽微な予算(もしくは経費減)> [継続・新規]

- ・市役所の使用電力にもとづく再生可能エネルギー導入の可能性検討を行うこと  
例 広域ゴミ処理施設、新市庁舎 他にも家庭用電灯料金を使用する幼稚園・保育園など
- ・「古い冷蔵庫を探せ」運動など市民啓発と省エネ政策を進めること
- ・エコリフォーム助成など断熱の住宅改修の促進

### サンモールを始めとする商店街や商業施設復活に向けて「組み合わせ」的な事業提案を行うこと <軽微な予算(もしくは経費減)> [継続・新規]

- ・事業効果が薄い「連続立体交差」構想を撤回し、実現可能な駅周辺の振興策を立案すること（特に高砂駅周辺、西友跡地とサンモールや銀座商店街）
- ・単独では不可能な商業振興について、エネルギー政策や福祉政策との「組み合わせ」的な事業提案を研究し、実施すること

## ○[行財政改革・情報公開・市民参加] 市役所改革にむけた要望

### 市民病院の将来像を市民参加の場で徹底議論し、示された将来像に必要な予算を措置すること <多大な予算> [継続・一部新規]

- ・苦戦が続く市民病院の経営に対して、一定の税投入を明言し、医師の安心を保つこと
- ・医学生への奨励金、市民病院への無料バス導入など市の一般会計で実施できる施策を早急に立案し、実行すること
- ・総合医育成、訪問医療の拠点施設としての整備など税投入に見合うサービス増大を実施すること

#### **公共施設の延べ床面積削減の議論の促進と備品管理の徹底<経費減> [継続・一部新規]**

- ・公共施設については個別計画を示し、具体的な案を着実に実行すること
- ・新公会計の整備に伴ってもいまだ十分でない備品管理について徹底し、重複や無駄なスペース占有がないことをめざすこと また倉庫のあり方も再考すること

#### ○[教育・福祉・まちづくり] **子ども子育て日本一、雇用と安心の社会保障への要望**

#### **教育には「安定」も重要 むやみな制度改革より学力向上の着実な実施を <一定の予算> [継続・一部新規]**

- ・「全市でのこども園実施」「小中一貫校の推進」といった教育破壊政策をやめること 少なくとも市民との対話をきちんと行うこと
- ・茨木市のような学力アップ政策を導入し、全体的な底上げを図ること
- ・中学校給食センターの建設にあたっては市民への安心につながる施設や業者選定とすること（試食会や見学会の実施可能な施設、業者制定にあたってのメニュー、公会計化）

#### **「需給調整」型から「育成」型の介護サービス提供へ <軽微な予算> [新規]**

- ・サービス提供業者の「需給調整」型の介護サービス提供は通所サービスをのぞけば限界に達している。育成し、サービスを担ってもらい「育成」型のサービス提供に転換すべきである。協同労働組合やNPOなどの新しい主体育成につとめること
- ・住民活動にプラスになる「新総合事業」のため、県民交流広場などすでに事業を実施しているが予算不足に悩んでいる団体に具体的にターゲットを絞り実現すること